

# 水俣病の教訓を 次世代に伝える

～水俣から何を学び、何を伝えるのか～

2008年 **3月1日** 土 13:00～17:30  
**丸ビルホール**

(東京駅 丸の内南口 徒歩1分・丸ビル7・8階)

**対象者**：教育関係者、学生、NPO関係者、一般市民  
**募集人数**：300名  
**参加費**：無料  
**主催**：環境省

水俣病が昭和31年に公式確認されてから50年が過ぎましたが、水俣病問題は今なお大きな課題となっています。

こうした中、発生地の水俣市や新潟県では、この負の経験を語り継ぎ、命や自然、環境とどのように向き合っていくかを学ぶ、新たな試みが広がっています。

このセミナーでは、水俣病被害者であり、時代の証言者でもある水俣・新潟の語り部の方々に貴重な体験談をお話いただきます。

あわせて新潟・水俣の小学生交流事業、水俣市の小学校における環境教育、みなまた環境大学など、色々な立場の方から、新たな取組について、事例紹介をしていただきます。ぜひ、ご参加ください。

## ◆プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:10～ 時代の証言 水俣病語り部講演

水俣地域語り部 永本 賢二  
新潟地域語り部 近 四喜男

15:20～ 事例発表 (新潟)

「総合学習を通して学んだ水俣病」  
新潟県新発田市立天王小学校 5・6年生児童

「新潟水俣病問題に係る懇談会  
～環境と人権教育検討部会の協議概況」  
同委員・上越市教育センター所長 寺田 喜男

16:10～ 事例発表 (水俣・全国)

「体験や交流から学んできたこと」  
水俣市立水俣第一小学校教諭 立道 一則

「みなまた環境大学の取組」  
水俣市環境対策課 久木田美和子

「首都圏における情報発信」  
地球環境パートナーシッププラザ 川村 研治

17:20～ 閉会



## 参加申込み方法

ホームページ (<http://mizumidori.jp/minamata/>) の参加申し込みフォームもしくは、FAXにてお申し込みください。希望者多数によりお断りする場合があります。

## お問い合わせ・参加申込み先

(財) 水と緑の惑星保全機構 東京都港区西新橋 2-16-2, 3F  
TEL : 03-3433-4454 FAX : 03-3433-4510  
URL : <http://mizumidori.jp/minamata/>  
E-mail : [minamata2008@mizumidori.jp](mailto:minamata2008@mizumidori.jp)

# 講演者・概要紹介

## ● 語り部 講演者

### 永本 賢二(水俣市立水俣病資料館 語り部)

1959年、水俣市生まれ。1970年に水俣病と認定される。胎児性水俣病患者。(社福)さかえの杜・小規模授産施設「ほっとはうす」に勤務。水俣病患者や障害者の苦勞を理解してもらい、明るいまちづくりが進むことを願って、自らの体験を語る。2002年1月から水俣病資料館の語り部。

### 近 四喜男(新潟県立環境と人間のふれあい館 語り部)

1930年生まれ。阿賀野川が生活の場であり、川漁で獲れた魚を常食していた。1965年、実父が水俣病を発症し他界。この頃より水俣病の症状を発症。新潟水俣病第一次訴訟・原告団団長である長兄(近喜代一)を支援。1974年水俣病認定申請するが1975年棄却。2002年より、新潟県立環境と人間のふれあい館の語り部。

## ● 水俣病発生地域間交流事業

新潟県の主催で平成18年度から水俣市と新潟県の小学生の交流事業を実施している。夏休み、冬休みを使って、小学生の代表者12名が相互に訪問し、様々な環境学習や患者さんの体験談を共に学び、その成果を発表している。

## ● 新潟水俣病問題に係る懇談会

平成19年2月泉田知事が発足させた有識者による懇談会。約1年間かけて「新潟水俣病とは何なのか」を多面的に議論し、今後の地域のもやい直しを図る上で県の果たすべき役割などについてまとめていくことにしている。

## ● 水俣市内での教育実践

水俣市内の学校では、学校毎に内容は違うが、患者さんとの交流など、全学年で水俣病学習に取り組んでいる。郷土水俣を愛し、水俣を誇りに思う態度の育成や水俣病を正しく認識するとともに、それに関わる差別を見抜き・許さない態度の育成を目指している。

## ● みなまた環境大学

水俣病をはじめ、水俣病の経験をもとに住民協働で進めてきた様々な取組を、現地水俣で学んでもらおうと、今年度から水俣市が開催。水俣全域丸ごとキャンパスで、人や暮らし、自然など水俣が持つ豊富な資源が教材。環境について自ら考え行動する人材の育成を図る。

## ● 地球環境パートナーシッププラザ(GEIC) 「水俣病に学ぶ(仮)」コーナー

東京青山にあるGEICは、環境省(民間活動支援室)と国連大学の共同事業として生まれた環境情報拠点。水俣病から学ぶ機会を増やし、環境破壊を経験した地域の再生に資する情報等を発信することなどを目的としたコーナーの開設を現在企画している。

## 参加申込フォーム

ご記入の上、FAX **03-3433-4510**にお送りください。http://www.mizumidori.jp/からも、お申込みいただけます。郵送で参加証をお送り致します。正確にご記入ください。

氏名		
団体・学校・職業		
住所	〒 -	
電話番号	( ) -	
E-mail		
アンケート セミナー開催にあたりアンケートにご協力ください	(1) これまで、水俣病の語り部あるいは関係者の講演や話を聞いたことがありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	(2) 水俣病関係の施設・資料館等を訪問したことがありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	(3) 教育関係者・学生の方にお聞きします。これまで水俣病について、授業等や研究テーマで、取り上げたことがありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない (あるの方のみ記入) <input type="checkbox"/> 授業(実施された時間を○で囲んで下さい) 総合学習 社会 理科 その他( ) <input type="checkbox"/> 研修・修学旅行 <input type="checkbox"/> 研究テーマ
当日、会場で質問したい事をお書きください		